



「甘い生活」

米兵のジープを追いかけてチョコレートを買った少年がいる。

「甘みは：時に人間だけでなく、社会を支配する強い武器である。」

恋の告白をチョコレートに代えて、恋人に捧げる儀式があるが、この日だけは商店街の賑わいが深夜まで絶えない。

少年の時、隣の町にクレープの店ができると聞いて、群れをなして自転車をこいだ。

フェデリコ・フェリーニの名作に、「甘い生活」がある。

甘味料ほど虚無的で現実を裏切らない存在はない。